



『もっと！！本野通信』

No.113

諫早市立本野小学校長 永 井 洋

第2回学校保健委員会開催

26日に、第2回目の学校保健委員会が開催されました。今年度の児童の健康、保健衛生、安全、体の発育に関する報告と、次年度への課題に対する意見をいただく会になりました。学校医の小野先生(12月より)、学校歯科医の野口先生、学校薬剤師の木下先生にもご参加いただき、ご指導ご助言をいただきました。



スマートフォンやゲーム、タブレット、PCなどのメディアとの付き合い方は本校だけではないのですか、今後の大きな課題の一つだと思っています。

「・・・しか？」それとも「・・・も？」(小言みたいですみません②)

先日、所用のため新幹線で博多に向かいました。朝一番の便でしたので、寝坊した私はあわてて準備をしていました。その時の気持ちは、「急がないと、あと1時間しかない」でした。博多での用事が早く終わり、駅に着いたのが、帰りの時刻の1時間前でした。この時は、「まだ1時間もあるな」でした。新幹線の中で、同じ時間でも置かれている状況で、こんなにも感じ方が違うのだなと改めて思ったところです。

では、小学校から中学校までの義務教育期間については、「9年しかない」でしょうか？「9年もある」でしょうか？少し漠然としていますので、数字で示してみます。9年間を日数にすると、3287日(閏年があるため)になります。

- ①1年間に登校する日数はおよそ200日です。 $200日 \times 9 = \text{約 } 1800日$ となります。
- ②時間に換算すると、学校にいる時間は、およそ8時間なので、 $\text{約 } 8時間 \times \text{約 } 1800日 = \text{約 } 14400時間$ です。
- ③約14400時間を日数に換算すると、 $\text{約 } 14400時間 \div 24 = \text{約 } 600日$ です。
- ④つまり、義務教育の9年間で、学校で過ごす時間だけを計算すると、約600日(1年と235日)になります。

日々の生活では、3287日あるのですが、実際に学校で学ぶのは約600日(18%ほど)だということが分かります。子どもたちが、学校以外の場所で過ごすことが多いということを改めて感じます。だからこそ、家庭・地域(ふるさと)・学校の3つの連携が重要だということなのですね。

さて、6年生は間もなく義務教育9年間の三分の二を終えようとしています。つまり、義務教育学校で過ごす残りの日数は、200日ほどになります。義務教育期間の9年間、「9年間も」でしょうか？「9年間しか」でしょうか？

2月が逃げていきました。来週から3月に入ります。さみしい別れの月ですが、新しい出会いの4月に思いを馳せながら過ごす月にしたいと思います。